

第10回プラチナ大賞

道路と鉄路の「**二刀流**」DMV
～ **世界初** に乗りに行こう！～

徳島県、高知県、阿佐海岸鉄道株式会社





01 DMVとの出会い ～国鉄マンのロマン～

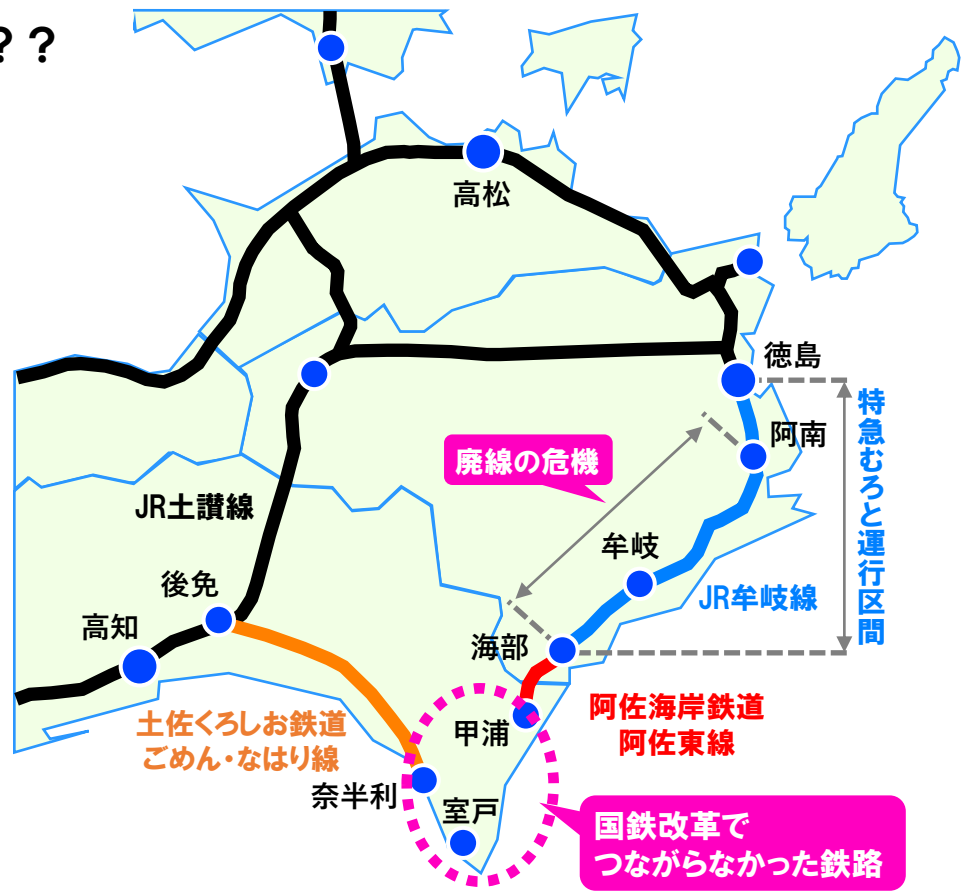
- ① 徳島だけを走るのに、なぜ「特急むろと」???
- ② 平成17年6月 JR四国社長と「国鉄マンのロマン」を探しに 北海道へ！
- ③ DMV（プロトタイプ）は「地方公共交通の救世主」と確信！！



特急むろと



平成17年 JR北海道 苗穂工場にて



02 牟岐線はローカル鉄道の縮図 ～多様な次世代モデル実装～

①JR北海道がDMVを断念 → **2番手から1番手** に

②「地域モビリティの刷新に関する検討会」(R4.7提言)

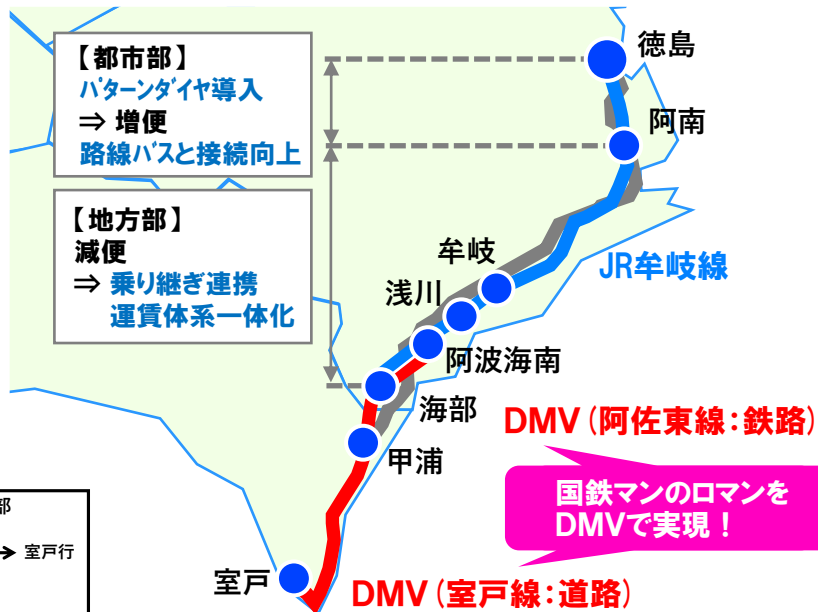
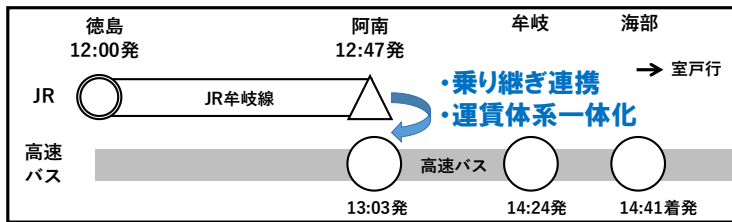
⇒ 輸送密度 1,000人未満 が廃線の危機

③牟岐線では**先行して多様なモデルを実装**

【四国初】 H31.3～
パターンダイヤ導入
路線バスと接続向上
 (徳島駅～阿南駅)

改正前	改正後
8	8
9	9
10	10 00
11	11 00
12	12 00
13	13 00
14	14 00
15	15 00
16	16 00
17	17 00
18	18 00
19	19 00
20	20

【全国初】 R4.4～
JRと高速バス
との共同経営
 (阿南駅～浅川駅)



【世界初】 JR線路を買ってまで **導入したDMV**

R3.12.25～ (阿波海南駅～海部駅)

※令和4年7月、共同経営などに関し、JR四国と徳島バスとともに **国土交通大臣表彰**

03 DMV導入効果 ～コロナ下でも新たな客層を掘り起こし～

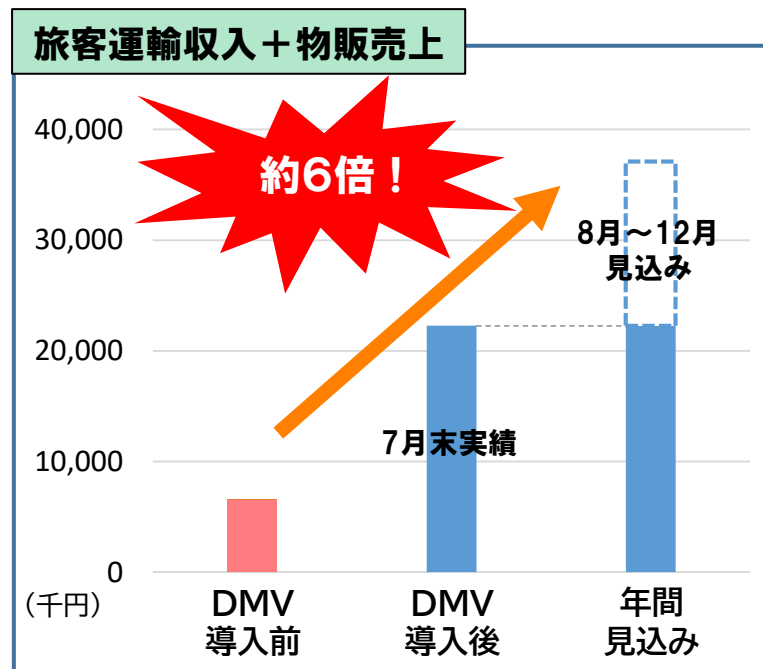
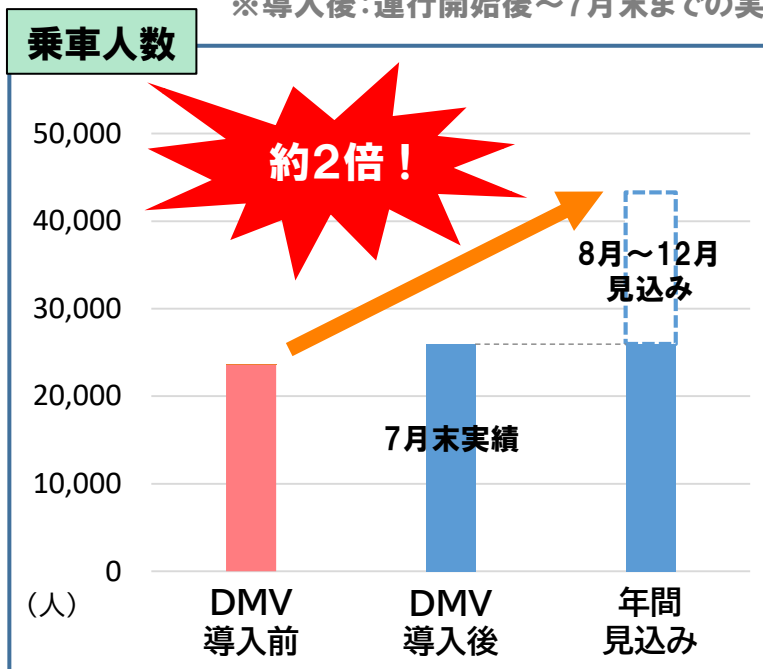
① 三セクの阿佐東線は **開業(平成4年)以来ずっと赤字**

② **コロナ下にもかかわらずDMV運行開始で大幅収入増!**

【要因】

- ・乗車区間(バスモード)の延伸
- ・地域外からの利用者が増加
(**車両自体が観光資源**)

※導入前:H30年度～R1年度の年間平均
※導入後:運行開始後～7月末までの実績



04 今後の展開① ～世界から人を呼び込む～

① DMVは「旅の目的」として注目

- アンケート調査では「乗ること」そのものが目的
- かつて開発を試みた 鉄道王国(英国・ドイツなど)も注目

② アフターコロナでインバウンド全面解禁

(令和4年10月11日から)

- 世界経済フォーラム (国別で「**日本が1位**」)
- ロンリープラネット (地域別で「**四国が6位**」)
- トリップアドバイザー (国内都市で「**海陽町が6位**」)

日本で唯一
TOP10 入り!



車両3台お披露目イベント

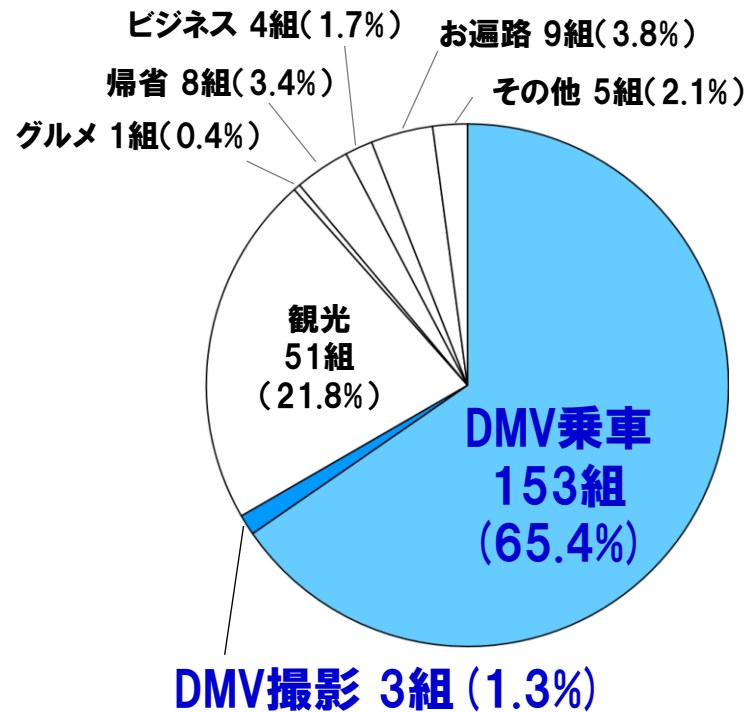


阿波海南駅 撮影スポット

※モード・インター・チェンジ

DMVに乗った人へ
旅の目的をアンケート
⇒ **約7割** がDMV車両を目的!

[n=234組]



05 今後の展開② ～危機に備える～

① 『東日本大震災を振り返ると・・・』

三陸鉄道は復興まで10年

- ・ リアス式海岸
- ・ 津波による被災リスク
- ・ 鉄路と幹線道路が並行

三陸と徳島県南部は
条件が酷似

『南海トラフ地震に備えて・・・』

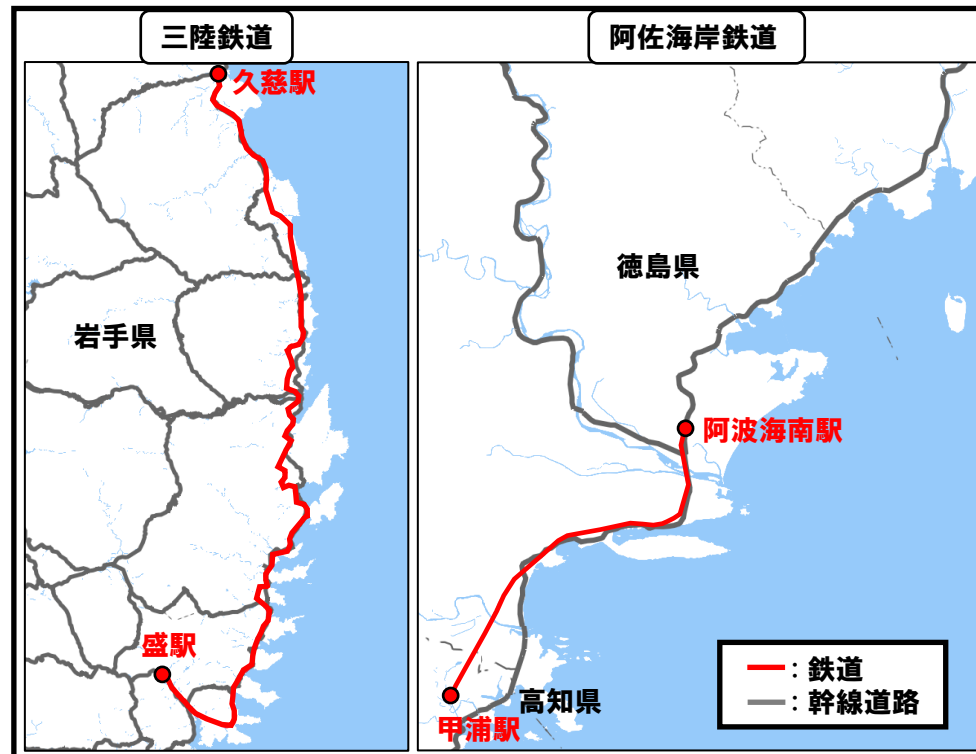
DMVなら！

- ・ 災害時：残った「道路か鉄路」でいち早く運行
→ 早期復興へ
- ・ 平常時：地域の足

② 地域公共交通が抱える課題

全国のローカル線の救世主として期待

- ・ シームレスな交通体系 → 中山間地域のファーストワンマイルの解消
(インバウンドの二次交通としても有効)



地理院タイルを加工して作成

10月14日で鉄道開業150周年 道路と鉄路で新たな「スタート」!

○ 安全運行継続

⇒ 長期耐久性の実証

○ 他地域からの熱い視線

⇒ 未来のモデル

○ 持続可能な公共交通

⇒ 持続可能な社会を実現

ご清聴ありがとうございました。